



山王台だより10月号

令和元年 9月30日
横浜市立山王台小学校
〒235-0016
横浜市磯子区磯子5丁目2-1
TEL.045 (755) 1107

【学校教育目標】自分のよさに気づき、相手の気持ちを大切にしながら、ともに高め合って生きる

ワン フォー オール、オール フォー ワン

「One for all, All for one」

～ひとりみんなのために みんなはひとりのために～

校長 志田 一彦

コスモスの花が風にゆれ、虫の声に秋の訪れを感じるようになってきました。田んぼでは5年生が育てている稲が黄金色に色づき、重たそうに穂先を垂れています。前期もあと2週間です。

ラグビーのワールドカップが開幕しました。前回のイングランド大会では日本が南アフリカ戦で歴史的勝利をおさめ、日本中が歓喜に沸きました。私も競技のスピード感や体と体がぶつかりあう迫力、スクラムを組む力強さ等に魅了され、夢中になって応援していました。

今大会はアジアで初の開催となり、横浜でも決勝・準決勝を含む7試合が繰り広げられます。開幕に先立ち市内の小学校にラグビーボールが寄贈されたり、ロシアとの開幕戦の日には給食の献立がロシア料理（ビーフストロガノフ、マッシュポテト、カプースタ）だったりするなど、子どもたちにラグビーへの関心を高める取組も行われています。日本はロシア戦に勝利し、これからどんなドラマが展開していくのか、前回大会同様に胸を高鳴らせています。

さて、ラグビーのチームワークの精神として「One for all, All for one（ひとりみんなのために、みんなはひとりのために）」という言葉があります。スクラムを組み、ボールを奪い、パスを出し合いながら相手の陣地に突進していく姿を見ていると、一人ひとりが自分の役割を果たし、チームで力を合わせながら目的に向かって突き進む力強さを感じます。

チームには走るのが速い選手、力が強い選手、タックルが上手な選手、パスやキックが正確な選手など、様々な個性をもった選手がいます。選手は自分の得意な面を活かしながらチームのためにプレーをし、チームは個々の選手の個性を引き出し、チームとしての力を高めています。これが「One for all, All for one」の精神につながっているのだと思います。

学校もまた、ラグビーチームと同じように様々な個性のある子どもたちが、いろいろな場面で素敵な持ち味を発揮しながら育っていくチームです。個性は得意なことばかりではなく苦手なこともあってこそ個性です。子どもたちはお互いの個性、そして、長所や短所を認め合いながら学級や学年を作り上げ、チーム力を高めていきます。そこには、自分の気持ちを相手に伝える、相手の気持ちを受け止めるという心と心のパスもあるはずです。

10月19日は運動会が行われます。すでに各学年で練習が始まり、子どもたちが担当する係ごとの準備も進められています。

運動会では、いろいろな場面で子どもたちの「One for all, All for one」の精神が発揮されることを期待しています